

がん研究会 有明病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： EGFR Uncommon Mutation 陽性進行,再発肺腺癌における Afatinib と Osimertinib の治療の有効性を比較する 多施設共同後ろ向き観察研究 (TOPGAN2024-01)

研究の目的

肺腺癌の一部では「EGFR 遺伝子変異」という特徴が見られることがあります。このうち、少し珍しいタイプ (Uncommon Mutation) でも、一般的なタイプ (Major Mutation) と同じように薬が効くという報告があります。特に、「アファチニブ (第2世代)」や「オシメルチニブ (第3世代)」という薬が効果的だという研究結果がありますが、どちらがより良いかについては、まだ十分に調べられていません。

そこで今回の研究では、この珍しいタイプの EGFR 遺伝子変異を持つ進行または再発した肺腺癌の患者さんを対象に、アファチニブとオシメルチニブの治療効果を比較して調べます。

研究実施期間： 当院病院長実施許可日～ 2026年8月31日

対象となる方： 2015年1月1日から2023年12月31日の間に当院で Uncommon Mutation に対してアファチニブまたはオシメルチニブで治療を受けた方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、Performance Status、喫煙歴、既往歴、病期、化学療法レジメン、治療効果、副作用、治療開始日、増悪日、最終生存確認日などについて、標記研究課題実施のために利用します。今回の研究では、試料の利用はありません。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して (これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	<p>菅井 万優（がん研究会有明病院 呼吸器内科 医員） 〒135-8550 東京都江東区有明3丁目8-31 TEL: 03-3520-0111 E-mail: mayu.sugai@jfc.or.jp</p> <p>研究事務局 秋田 貴博（弘前大学大学院医学研究科 弘前大学大学院医学研究科 高度救命救急センター 病院助手） 〒036-8562 青森県弘前市在府町5 TEL:0172-39-5468 E-mail: ta-bo-723@hotmail.co.jp</p>
-------	---